

年金記録確認中央第三者委員会基本部会（第16回）議事要旨

1. 日 時 平成24年7月4日（水）15時00分から16時40分
2. 場 所 年金記録確認中央第三者委員会 9階 大会議室
3. 出席者
（委員会）高野委員長、奈良委員長代理、衛藤委員、小澤委員、瀬川委員、中村委員、松倉委員、南委員
（総務省）加賀谷総務大臣政務官、新井評価局長、上村室長 ほか
（厚生労働省）尾崎年金記録回復室長
（日本年金機構）柳樂事業企画部長
4. 議 題
・「年金記録確認第三者委員会報告書」（平成23年6月）において提言した課題について
5. 会議経過
 - 冒頭、加賀谷総務大臣政務官より以下の趣旨の挨拶があった。
 - ・ 委員会設置以降、22万件を超える事案を審議いただき、うち10万件を超える年金記録の回復が図られた。大変精力的に御審議いただいた結果であり深く感謝。
 - ・ 新たな年金記録体制の構築については、現在、厚生労働省と鋭意調整を進めているところ。早期に新たな体制に移行できるよう、今後、政務としても積極的に調整を進めてまいりたい。
 - 申立事案からみた年金記録確認に係る課題について事務局から説明があり、委員からは、制度ができるだけ複雑にならないようすること、残る課題について解決に努力することの要望が出された。
 - 新たな年金記録確認体制の構築について、厚生労働省との協議が続いている旨の説明が事務局からあり、委員からは早期に新たな体制の構築時期の目処が立つよう努力するよう要請があった。

〔 文 責： 事 務 局
後日修正の可能性あり 〕